

ものづくり基本計画		(方針1) 企業の誘致と留置の推進		平成29年度			
事業	事業名	(事業1) 企業立地の推進		予算額	542,000 千円		
				決算見込額	490,067 千円		
	事業概要	<p>企業の誘致と留置の推進については、すでに策定済みの「静岡市企業立地戦略指針」や企業立地促進法に基づく「静岡市地域の基本計画」を進めるとともに、事業者の抱える課題等を把握していきます。また、企業に対しては、遊休用地・設備等の再編をはじめ、市内における事業継続、新規立地を促す情報提供及びPR活動のほか、優遇策の提供により、市内企業の留置と市外からの新規誘致を積極的に進めます。</p> <p>特に、広域交通インフラを活かした物流関連産業の立地促進、都市機能の集積を活かした都市型関連産業の立地促進、そして第2次静岡市産業振興プランに掲げた戦略産業の立地促進などを実施していきます。</p> <p>さらに、企業立地用地の確保の推進については、民間による開発促進に向けた支援の拡充のほか、公共による開発を含めた用地確保を検討します。</p>		取組状況	H29.9.1 現在	<p>市外企業の誘致、市内企業の留置に向けて、積極的な企業訪問を実施し、本市の立地優位性・ビジネス環境のPRや助成制度の情報発信を積極的に行うことで、企業立地の促進に努めている。</p> <p>企業が具体的な立地物件を求めている場合は、市内の不動産業者と連携し、条件に合う物件情報を提供しマッチングを行っている。</p> <p>また、企業ニーズに合わせて助成制度の見直しを図るとともに、立地に際しての様々な行政手続きに係るワンストップサービスを産業振興課が担うなど、企業に寄り添った支援を実施している。</p> <p>・新規企業立地件数 26件 ・市内企業訪問 389件 ・市外企業訪問 119件 ・企業立地相談件数 189件</p>	
				進捗率等	H30.3.31 現在	(新規企業立地件数) 26件	153 (%)
				補足事項			
	成果目標	新規企業立地件数 17件/年 (第3次総合計画) 平成27~30年度 68件 平成31~34年度 68件					
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	3 商工・物流分野		事業結果	<p>■新規企業立地件数 26件</p> <p>市外企業の誘致、市内企業の留置に向けて、積極的な企業訪問を実施し、本市の立地優位性・ビジネス環境のPRや助成制度の情報発信を積極的に行うことで、企業立地の促進に努めている。</p> <p>企業が具体的な立地物件を求めている場合は、市内の不動産業者と連携し、条件に合う物件情報を提供しマッチングを行っている。</p> <p>また、企業ニーズに合わせて助成制度の見直しを図るとともに、立地に際しての様々な行政手続きに係るワンストップサービスを産業振興課が担うなど、企業に寄り添った支援を実施している。</p> <p>(参考事項)</p> <p>・市内企業訪問 389件 ・市外企業訪問 119件 ・企業立地相談件数 189件</p>	
		政策	1 次代を担う本市を代表する産業を生み出します				
		施策	3 企業の誘致を留置の推進				
	産業振興プラン位置付け(分野別計画、総合計画と同様)	分野	3 商工・物流分野		事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>今後予定されている大規模立地案件への対応のため、助成制度の見直しや、交付事務手続きの簡素化等の検討を行う。</p>	
政策		1 次代を担う本市を代表する産業を生み出します					
施策		3 企業の誘致を留置の推進					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 企業立地係		その他 (特記事項)				

事業 2	ものづくり基本計画	(方針2)新市場・販路開拓に対する支援(異業種交流支援を含む)		平成29年度				
	事業名	(事業2)全国規模等の見本市への出展助成		予算額	9,200千円			
				決算見込額	9,072千円			
	事業概要	<p>市内の中小製造事業者が、販路を開拓し、製品の販売促進に向けて、市内外で開催される全国規模、または国際的な展示会や見本市等に出展又は開催する経費のうち、小間料等を助成します。</p> <p>助成内容の拡充については、助成に基づく成約額等の実績などを考慮しながら検討していきます。</p>		取組状況	H29.9.1現在	<p>■補助申請件数及び執行額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助申請件数 42件 ・執行額 8,920千円 		
					補足事項	進捗率等	H29.9.1現在	— (%)
							H30.3.31現在	<p>商談成約率(名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合) 11%</p> <p>220 (%)</p>
	成果目標	商談成約率(名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合) 5%		事業結果	<p>■申請件数:45件</p> <p>執行額:9,072千円</p> <p>名刺交換数(確認できたもの)7,290件</p> <p>商談に進んだ件数 774件</p> <p>■海外展示会への出展を行った企業数は4社。</p> <p>■金融機関を中心に補助金の周知活動を実施し、助成制度の活用促進に努めた。</p> <p>■補助金の利用回数に応じた補助上限額の引き下げを導入した。</p>			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流					
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります					
		中施策	新市場・販路開拓に対する支援					
産業振興プラン位置付け	基本方向			事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>■申請事業者の固定化が課題となっているため、今後は周知方法を工夫するなどして、広く本制度の周知を図るようにしたい。</p>			
	基本方針							
	基本施策							
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)					

事業 3-1	ものづくり基本計画	(方針2)新市場・販路開拓に対する支援(異業種交流支援を含む)		平成29年度		
	事業名	(事業3)首都圏におけるプロモーションの強化 (事業3-1)特産品東京展示会事業		予算額	4,601千円	
				決算額	4,597千円	
	事業概要	この事業は、首都圏の商業施設等(東京丸の内KITTEやJR新宿駅構内のイベントコーナーなど)において、本市特産品の展示販売のほか、職人による実演等を実施し、伝統的工芸品を含む地場産品の販売促進に取り組めます。 また、展示会事業では、展示販売だけでなく、バイヤーを招いて商談機会を設けるなど、更なる販売促進に結び付ける取組も実施していきます。 開催会場については、本市地場産業にとって、収益性の向上等の効果が見込める会場を検討して選定します。		取組状況	H29.9.1現在	■10月11日～13日までの3日間、東京新宿駅西口広場イベントコーナーにおいて、「静岡市の特産品 新宿展示会」を開催し、伝統工芸品を中心とした、本市地場産品等の販売を予定している。伝統工芸実演では、するがクリエイティブに所属する職人による実演を予定している。また、「いつでもどこでもお茶を ポータブル茶室で楽しむ静岡茶」と題して静岡茶教室を開催するなど広く本市をPRする。
					進捗率等	H29.9.1現在
				補足事項	H30.3.31現在	490万円 98(%)
	成果目標	会場売上金額(万円) 500万円/年(2,000万円/4年)		事業結果	■10月11日～13日までの3日間、東京新宿駅西口広場イベントコーナーにおいて、「静岡市の特産品 新宿展示会」を開催し、伝統工芸品を中心とした本市地場産品等の販売を実施した。伝統工芸実演では、するがクリエイティブに所属する職人による実演を行った。また、「いつでもどこでもお茶を ポータブル茶室で楽しむ静岡茶」と題して静岡茶教室を開催するなど広く本市をPRした。各職人の丁寧な接客で展示後の商談にもつながり、大きな成果を得ることができた。 期間中の来場者数 約13,000人 期間中の売上額 約4,899千円	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流			
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
	産業振興プラン位置付け	中施策	新市場・販路開拓に対する支援、シティプロモーションの推進	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	■当展示会は16回目を迎え、来場者の約4割がリピーターであるなど首都圏に定着してきたと言える。しかし、約2割の方は静岡市の工芸品を知らないと回答しており、工芸品のPRを強化することが課題である。 ■静岡ならではの企画展の開催や、デジタルサイネージ、facebook等電子情報媒体を活用していくことで幅広い年齢層の方へ来場していただく。また、出店者の配置を確認し、引き続き売上増を目指していく。 ■目標未達成の理由 例年より新宿駅西口の利用者が少なく、目標とする売上金額を達成できなかった。現在利用していない1/4エリアを他団体と協力し西口広場イベントコーナー全体を借りることで、盛り上がりある展示会を行えるよう検討していく。
政策方針		商工・物流				
大施策		世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)			

事業 3-2	ものづくり基本計画	(方針2) 新市場・販路開拓に対する支援(異業種交流支援を含む)		平成29年度		
	事業名	(事業3) 首都圏におけるプロモーションの強化 (事業3-2) ホビーのまち静岡推進事業		予算額	74,628千円	
				決算見込額	73,594千円	
	事業概要	<p>ホビーのまち静岡の推進を図る中では、本市の特長であるプラスチックモデル産業を基盤としながらも、今後は、クリエイティブ、アート、コンテンツ等とホビー産業の関連分野との新たな連携や融合に取り組んで、ホビー関連産業の裾野拡大に努めます。</p> <p>こうしたホビー関連産業の広がりに向けては、動画配信のほか、首都圏の商業施設等において、PR活動等を継続的に実施し、更なる顧客の拡大や新たな購買層の獲得に結び付けていきます。</p> <p>このような裾野拡大やPR活動等の継続的な実施により、多くの方々に「静岡市に行けば、一生楽しめる趣味が見つかる」や、「ホビーと聞けば、即座に静岡市をイメージする」と認識していただけるように努めていきます。</p>		取組状況	H29.9.1 現在	<p>○小田急電鉄広告掲載 掲載枚数:中刷り広告 2,000枚(全車両)/駅貼りポスター 70枚(全駅) 掲載期間:中吊り広告 5日間/駅貼りポスター 2週間</p> <p>○ホビーのまち静岡 動画配信 概要:ホビーのまち静岡の歴史やイベントを紹介するPV(H27年度作成)をyoutubeやホビースクエアHPで動画を配信した。</p>
				進捗率等	H29.9.1 現在	138,021人 56(%)
				補足事項	H30.3.31 現在	233,888人 95(%)
	成果目標	関連施設・イベント入込客数 247千人		事業評価	事業結果	<p>下記のとおりプロモーション事業を行った。</p> <p>■首都圏PR(第1回目) 名称:ホビーのまち静岡inイオンレイクタウン 期間:平成30年3月10日~11日(2日間) 会場:レイクタウンmori 1F 木の広場(埼玉県越谷市) 来場客数:10,000人</p> <p>■小田急電鉄広告掲載 掲載枚数:中刷り広告 2,000枚(全車両)/駅貼りポスター 70枚(全駅) 掲載期間:中吊り広告 4日間/駅貼りポスター 2週間</p> <p>■ホビーのまち静岡 動画配信 概要:ホビーのまち静岡の歴史やイベントを紹介するPV(H27年度作成)をyoutubeやホビースクエアHPで動画を配信した。</p>
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流			
		大施策	次代を担う本市を代表する産業を生み出します			
		中施策	戦略産業の育成・集積を推進			
産業振興プラン位置付け	基本方向	戦略産業の振興	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>①首都圏PRについては、より効果的なイベント内容及び来場者が静岡市を感じられるような会場レイアウト作りを検討する。</p> <p>②各プロモーション事業を実施したことによる効果を検証し、次年度以降の施策に反映していく。</p>		
	基本方針	観光・ブランド産業				
	基本施策	ホビー産業育成支援事業				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)			

事業 3-3	ものづくり基本計画	(方針2) 新市場・販路開拓に対する支援(異業種交流支援を含む)		平成29年度				
	事業名	(事業3) 首都圏におけるプロモーションの強化 (事業3-3) しずおか葵プレミアム認証事業		予算額	2,350千円			
				決算見込額	2,110千円			
	事業概要	この事業では、本市ならではの魅力を生かした認証品の販売支援等を通じて、認証事業者の収益向上に努めるとともに、消費者に本市を思い描いてもらう認証品づくりについて、認証事業者、ブランド認証専門委員、関連事業者、市が連携を図りながら実施していきます。 具体的には、バイヤーを含むブランド認証専門委員による認証品の販売促進に向けた販路の選定や、大消費地である首都圏等の商業施設等を想定した販売促進を支援します。 さらに、その内容を踏まえて新規認証再開に向けた制度設計の検討を行い、新たなステージでの事業推進に取り組んでいきます。		取組状況	H29.9.1 現在	<p>■展示・販売会等実績(4/1~9/1現在までに実施のもの)</p> <p>①第61回静岡まつり(3/31~4/2)</p> <p>②2017年 中国天津投資貿易商談会(5/6~9)</p> <p>③三保原屋LOFT 市民投票PR展示(8/21~10/31)</p> <p>④d-labo静岡 市民投票PR展示(8/21~10/31)</p> <p>⑤有楽町“よい仕事おこし”フェア(8/22~23)</p> <p>⑥ペガサート地下通路 市民投票PR展示(8/23~10/31)</p> <p>⑦駿府楽市「しずおか素敵な手土産展」(8/31~9/6)★</p> <p>※「★」は市民投票PR関連</p>		
		補足事項			進捗率等	H29.9.1 現在	展示・販売会等開催回数 7回	58(%)
						H30.3.31 現在	展示・販売会等開催回数 24回	200(%)
	成果目標	展示・販売会等開催回数 12回/年		事業結果	事業評価	<p>■展示・販売会等実績(9/2~3/31に実施のもの)</p> <p>⑧アビタ静岡店 市民投票PRイベント(9/2、3)★</p> <p>⑨清水エスハルス ホームゲームチラシ配布(9/23)★</p> <p>⑩しずちか 市民投票PR展示(9/28~10/11)★</p> <p>⑪名古屋「ビジネスフェア2017」(10/5)★</p> <p>⑫しんきんフェアしずおか2017(10/11)★</p> <p>⑬しずまえ・オクシズまつり(10/28)★</p> <p>⑭アビタ静岡店 生誕12周年イベント(11/2)</p> <p>⑮産業フェアしずおか2017(11/25、26)</p> <p>⑯ホビーのまち静岡 クリスマスフェスタ2017(12/9、10)</p> <p>⑰静岡市交流会in東京(12/13)</p> <p>⑱駿府匠宿「しずおか葵プレミアム展」(1/25~2/6)</p> <p>⑲静岡おみやプロジェクト「首都圏商談会(秋葉原)」(2/2)</p> <p>⑳静岡おみやプロジェクト「お披露目販売会」(3/24、25)</p> <p>㉑~㉒ペガサート地下通路 認証品展示4回</p> <p>※「★」は市民投票PR関連</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	分野別				次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>■H30年度は「しずおか葵プレミアム」の認知度を高めることでブランド価値の向上を図るため、市内外へ広く情報発信できるWEBコンテンツ(動画等)を活用した積極的なPRを実施する。</p>	
		政策						
		施策						
産業振興プラン位置付け	分野別							
	政策							
	施策							
担当課等	経済局商工部 産業振興課 海洋産業イノベーション推進係 (H30年度担当:工業振興係)		その他(特記事項)					

事業 4	ものづくり基本計画	(方針2) 新市場・販路開拓に対する支援(異業種交流支援を含む)		平成29年度		
	事業名	(事業4) 中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援		予算額	76千円	
				決算見込額	0千円	
	事業概要	<p>中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援については、新規顧客開拓や新分野進出を目指す市内企業を支援するため、情報発信及びビジネスマッチングの機会提供を推進します。</p>		取組状況	H29.9.1 現在	<p>■まちみがき戦略推進プラン事業 「中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援」 (情報発信・ビジネスマッチングの機会提供)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おおた研究・開発フェア 平成29年10月26日～27日 出展予定0社 ・おおた工業フェア 平成30年1月31日～2月2日 出展予定0社
					補足事項	進捗率等
	H30.3.31 現在	(支援事業への参加企業数) 0社 0(%)				
	成果目標	おおた研究・開発フェア及びおおた工業フェアの出展企業数 2社/年		事業結果	<p>■まちみがき戦略推進プラン事業 「中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援」 (情報発信・ビジネスマッチングの機会提供)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おおた研究・開発フェア(東京都大田区) 平成29年10月26日～27日 出展企業なし ・おおた工業フェア(東京都大田区) 平成30年1月31日～2月2日 出展企業なし ※応募企業はあったものの、出展者多数により、出展ができなかった。 	
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流		事業評価	<p>次年度に向けた改善点 ・目標の未達成理由等</p> <p>■研究・開発フェアについては、年々応募企業が減り平成29年度は0社であったこと、過去の出展企業へのヒアリングから出展効果あまり期待できないことから、次年度以降の出展については廃止を検討する。 ■工業フェアについては、出展を希望する企業もあり、工業系展示会として一定の効果が期待できることから、引き続き募集を行う(出展の可否は展示会全体の出展数による。大田区外企業は優先順位が低い。)</p>
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
	施策1	新市場・販路開拓に対する支援				
産業振興プラン位置付け	分野		事業評価	<p>次年度に向けた改善点 ・目標の未達成理由等</p> <p>■研究・開発フェアについては、年々応募企業が減り平成29年度は0社であったこと、過去の出展企業へのヒアリングから出展効果あまり期待できないことから、次年度以降の出展については廃止を検討する。 ■工業フェアについては、出展を希望する企業もあり、工業系展示会として一定の効果が期待できることから、引き続き募集を行う(出展の可否は展示会全体の出展数による。大田区外企業は優先順位が低い。)</p>		
	政策					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)			

ものづくり基本計画		(方針2) 新市場・販路開拓に対する支援 (異業種交流支援を含む)		平成29年度		
事業名	(事業5) 地場産品の販路開拓と販売促進	予算額	23,258 千円			
		決算額	23,097 千円			
事業概要	<p>この事業では、伝統工芸創造部会の提言等に基づいて、次に掲げる5つのポイントのもとで、伝統的工芸品を含む地場産品の販路開拓と販売促進を検討して事業化を進め、地場産業関連事業者の収益性の向上に努めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(事業5-1) 伝統工芸品等の展示販売会の充実化 ■(事業5-2) 海外における地場産品の販路開拓 ■(事業5-3) インターネットの活用による地場産品の販売促進 ■(事業5-4) 問屋の機能の再興に向けた検討 ■(事業5-5) 地場産品販売拠点の充実化 <p>伝統的工芸品を含む地場産品については、販路開拓と販売促進に関する課題を抱えているため、顧客のニーズを把握した上で、展示販売会の充実をはじめ、海外販路の開拓、インターネットを活用した販売促進に向けた支援を展開します。</p> <p>また、地場産品の販売拠点であるJR静岡駅構内の駿府楽市については、観光事業担当課などとも連携し、観光客の来店を促す特典等を検討するなど、これまで以上に販売を促進させる取組を推進していきます。</p> <p>さらに、伝統的工芸品については、売上げが見込める商品づくりに努めていきます。</p> <p>そのためには、首都圏等におけるテストマーケティングの実施をはじめ、顧客ニーズに関する情報を的確に伝統工芸職人に伝えるなど、消費者と生産者を結びとともに、伝統工芸分野の収益性を高める問屋の機能の再興を検討していきます。</p>	取組状況	H29.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ■静岡市の特産品東京展示会事業、シズオカ「KAGU」メッセ等、各種展示会開催による販路拡大を行う ■駿府楽市との定例検討会の実施 5回 ■JR静岡駅構内アスティ静岡の「駿府楽市」静岡市特産品展示コーナーにおいて年間28回の展示会を開催予定、内現在までに12展示会を実施した。 <p>4/1~8/31までの来場者数 170,590人</p>		
		進捗率等	H29.9.1 現在	<p>(5-4) 業界及び駿府楽市との検討会実施回数 12回 44%</p> <p>(5-5) 駅駿府楽市来場者数 17.1万人 41%</p>		
成果目標	<p>(5-1) 各展示販売会来場者数 270,000人</p> <p>(5-2) (海外に向けた) 開発と販路等の検討</p> <p>(5-3) 駿府楽市Webページ改修(済)</p> <p>(5-4) 業界及び駿府楽市との検討会実施回数 27回</p> <p>(5-5) 駅駿府楽市来場者数 41.5万人</p>	H30.3.31 現在	<p>(5-1) 各展示販売会来場者数 274,423人 102%</p> <p>(5-2) JETROの採択に至らなかったため未実施</p> <p>(5-4) 業界及び駿府楽市との検討会実施回数 28回 104%</p> <p>(5-5) 駅駿府楽市来場者数 42.4万人 102%</p>			
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流	事業結果	事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ■静岡市の特産品東京展示会事業、シズオカ「KAGU」メッセ等、各種展示会の入場者数 285,621人 ■JETROの事業枠で海外の展示会に出展し、静岡市の工芸品(静岡挽物等)の展示を行う予定であったが、採択に至らなかったため未実施 ■駿府楽市と業界、市の検討会の実施 28回 ■JR静岡駅構内アスティ静岡の「駿府楽市」静岡市特産品展示コーナーにおいて年間28回の展示会を開催した。年間来場者数 424,320人 	
	大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
産業振興プラン位置付け	中施策	新市場・販路開拓に対する支援、シティプロモーションの推進	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■駿府楽市との定例検討会や業界との協議は実施できているが、問屋の機能に係る協議に発展させていく必要がある。 ■海外でのシティプロモーション等の場を活用し工芸品等産品をPRしていく必要がある。 ■駿府楽市の静岡市特産品展示コーナーの展示会は引き続き継続させ、一層の来場者向上を図っていく。 ■駅楽市に関しては開店時から大規模な内装修繕が行われていない。小規模修繕は実施したが、照明の店舗部分と合わせ展示コーナーの大規模なリニューアルを実施する必要がある。 		
	大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係	その他(特記事項)				

事業 6	ものづくり基本計画	(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成29年度			
	事業名	(事業6) 新産業開発振興機構の活用に関する検討		予算額	0千円		
				決算見込額	0千円		
	事業概要	<p>地場製品の開発や販促をはじめ、地場産業界の競争力強化に関しては、新たな進展を図るため、製造事業者の集積機関である新産業開発振興機構との連携促進に向けて検討を進めます。</p>		取組状況	H29.9.1 現在	<p>■静岡商工会議所機構事務局との協議を継続し、木漆部会員を活用し伝統工芸を含めた地場産業界と新産業開発振興機構との連携を模索していく。</p> <p>■機構が有する多様な経営資源のうち、伝統工芸業界とマッチングできる業種を検討しその調整をしていく。</p> <p>■地場産業企業と連携について協議した</p>	
					進捗率等	H29.9.1 現在	(%)
						H30.3.31 現在	(%)
	成果目標	新産業開発振興機構との連携促進に向けた検討		事業評価	事業結果	<p>■静岡商工会議所機構事務局との連携の中で、大学や業界団体とのマッチング可能性を調査したが、結びついていない。</p> <p>■地場産業企業との協議を実施したが、同機構のノウハウ活用までは至っていない。</p>	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針					
		大施策					
		中施策					
産業振興プラン位置付け	基本方向		<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■静岡商工会議所機構事務局との協議を継続し、伝統工芸を含む地場産業と新産業開発振興機構との連携可能性を引き続き検討していく。</p> <p>■地場産業団体に対し、引き続き大学や研究機関との連携について希望調査していく。</p>			
	基本方針						
	基本施策						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)				

ものづくり基本計画		(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成29年度		
事業 7	事業名	(事業7) 中小企業技術開発支援事業		予算額	千円	
				決算見込額	千円	
	事業概要	<p>この事業では、中小製造事業者や業界団体等を訪問し、開発や生産技術等に関する課題などを把握した上で支援テーマを設定し、中小製造事業者の生産活動を支援していきます。</p> <p>初年度である平成26年度には3Dプリンタをテーマに設定し、セミナーの開催や、市・事業者で組織された研究会を通じて、商品開発を支援する仕組み作り等について検討を進めています。</p> <p>今後は、県や関係機関との連携を強化しながら、3Dプリンタや、知的財産を利用した技術開発事業を検討し、引き続き、中小製造事業者に対する生産活動を支援していきます。</p>		取組状況	H29.9.1 現在	■開発や生産技術等に関する課題を抱える市内製造事業者と課題解決に向けた各種訓練コースを備える清水テクノカレッジ（静岡県立清水技術専門校）との橋渡しのための取組について検討を行った。
				進捗率等	H29.9.1 現在	0 (%)
				補足事項	H30.3.31 現在	(市内製造事業者対象とした支援施設見学開催件数) 1件
	成果目標	市内製造事業者対象とした支援施設見学開催件数 1件/年		事業結果	事業評価	<p>■清水テクノカレッジ（静岡県立清水技術専門校）において、市内製造事業者7社を対象に施設見学会を実施した。</p> <p>施設見学会では、市内製造事業者が清水テクノカレッジの訓練内容に理解を示すとともに、今後希望する訓練内容等について、意見交換を行うことができた。</p>
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針				
		大施策				
	産業振興プラン位置付け	中施策		<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■製造事業者と支援機関等との橋渡しに向けた取り組みは次年度以降も継続して実施していく。</p>	
		基本方向				
基本方針						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)			

ものづくり基本計画		(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成29年度		
事業名	(事業8) 若手グループの商品開発支援(ものづくり相談・支援)	予算額		1,143千円		
		決算見込額		1,128千円		
事業概要	この事業では、市内地場産業の活性化に向けて、デザイン、加工技術、経営等に関する各種講演会や講習会のほか、事業者のニーズに基づいて、実務経験等が豊富な人材を派遣し、地場産業関連事業者を支援します。	取組状況	H29.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ■技術講習会の開催 塗装技術研究会の実施 2回(計2回予定) ■販路開拓講演会の開催 販路開拓講演会0回(1回予定) ■商品開発支援事業の実施 漆器商品開発研究会(1回)(1回予定) ■販売実践講座の実施 VMD実践指導0回(1回予定) 		
		補足事項	進捗率等	H29.9.1 現在	講演会、講習会開催回数 1回	33(%)
			H30.3.31 現在	講習会、講習会 指導会開催回数 5回	167(%)	
成果目標	講演会、指導会等の開催回数 3回		事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■技術講習会の開催 塗装技術研究会の実施 2回 ■商品開発・販路開拓講演会の開催 商品開発・販路開拓講演会 1回 「くらしをうるおす木と漆～創作工房・輪島キリモトの挑戦」(桐本泰一氏) ■商品開発支援事業の実施 漆器商品開発研究会 1回 「乾漆研究会」 ■実践講座の実施 販売実践講座 1回(4日連続) 「売上をつくる売り場を、つくる～VMDビジュアルマーチャンダイジング実践講座」(繁田和美氏) 		
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
	大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
中施策	新製品・技術開発等に対する支援					
産業振興プラン位置付け	政策方針	商工・物流	<ul style="list-style-type: none"> ■漆器商品流通化の実施 乾漆を中心とした漆器商品開発については開発段階は高いレベルへと達しており、専門家指導により販路開拓を継続していく。 ■実践講座の継続 販売実践講座が好評を博したように、直売への関心が高いことから、VMD等の手法を学ぶ実践講座を継続していく。 			
	大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
	中施策	新製品・技術開発等に対する支援				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)			

ものづくり基本計画		(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成29年度	
事業名	(事業9) 専門家の指導による商品企画・開発支援 (事業9-1) 商品企画・開発支援プロジェクト事業	予算額		指定管理料88,290千円の一部	千円
		決算見込額		指定管理料88,290千円の一部	千円
事業概要	商品企画や開発支援では、産学交流支援センターにおいて、マーケティング等の専門家を活用し、地域資源を生かした商品づくりを支援します。	取組状況	H29.9.1 現在	【静岡おみやプロジェクト】 ・プロジェクト期間 平成29年6月中旬～平成30年3月末 ・上限枠 6社 ・これまでに、勉強会、参加企業訪問、ニーズ調査を実施。マーケティング戦略に沿った商品開発に向け進捗中。 【今後の予定】 ・コンセプト及び戦略策定 ・商品開発 ・パッケージ開発	
				補足事項	進捗率等
H30.3.31 現在	商品化件数 6件	100 (%)			
成果目標	商品化件数 6件/年		事業結果	【静岡おみやプロジェクト】 ・プロジェクト期間 平成29年6月中旬～平成30年3月末 ・参加企業数 6社 ・事業アドバイザーのもと、市場の動向を見直し、消費者ニーズ調査を行うなど、マーケティング戦略に沿った商品開発を一貫して支援した。 ・商品化件数 6件	
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	3 商工・物流			
	大施策	01 次代を担う本市を代表する産業を生み出します			
	中施策	01 戦略産業の育成・集積を推進			
産業振興プラン位置付け	基本方向	3 商工・物流	事業評価	次年度に向けた改善点 ・目標の未達成理由等	原材料に地場農産物を扱う参加企業については、商品化することはできたが、農産物の不作により販売に至らなかった。
	基本方針	01 次代を担う本市を代表する産業を生み出します			
	基本施策	01 戦略産業の育成・集積を推進			
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係 (H30年度は中小企業支援係)		その他 (特記事項)		

事業	ものづくり基本計画	(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成29年度				
	事業名	(事業9) 専門家の指導による商品企画・開発支援 (事業9-2) 新商品・特許事業		予算額	6,150千円			
				決算見込額	5,336千円			
	事業概要	市内中小製造事業者が取り組む新商品の開発及び特許等の産業財産権の取得などについては、その出願経費の一部を助成します。 なお、新商品開発の経費助成については、本市産業経済の牽引が期待される産業に関して、産業振興プランに掲げる戦略産業の事業者を対象に助成内容の拡充について検討します。		取組状況	H29.9.1 現在	<p>■新商品等開発助成 新規性・市場性・事業完了見込等を基準とした審査を経て、4件の補助金交付申請を受理している。今後、1月末までに中間検査を実施し、年度末の事業完了報告を経て補助金を交付する。(交付決定額:3,920千円)</p> <p>■産業財産権出願等助成 9月1日現在、補助金交付申請件数は12件となっている。 特許:10件、実用新案:2件 今後、事業完了報告を経て補助金を交付する。 (交付決定額:1,200千円)</p>		
					補足事項	進捗率等	H29.9.1 現在	<p>新商品開発及び産業財産権出願等の件数 16件 (内訳) 新商品助成件数 4件 産業財産権助成件数 12件</p> <p>64 (%)</p>
	H30.3.31 現在	<p>新商品開発及び産業財産権出願等の件数 22件 (内訳) 新商品助成件数 4件 産業財産権助成件数 18件</p> <p>88 (%)</p>						
	成果目標	新商品開発及び産業財産権出願等の件数 25件/年		事業結果	<p>■新商品等開発助成 新規性・市場性・事業完了見込等を基準とした審査を経て、4件の補助金交付申請を受理した。中間検査で現地訪問により進捗状況を確認したところ、各事業所とも課題点等があったものの、順調に開発を進めており、交付決定した4社全て、年度内に開発を終えることができた。(交付金額:3,540千円)</p> <p>■産業財産権出願等助成 年度末までに次のとおりの交付申請があった。 申請件数 18件 (交付金額:1,796千円)</p> <p>■事業の周知活動 市内金融機関等の各関係企業、団体への訪問や会議においての説明を通じて、本事業の周知を図り、助成制度の活用促進に努めた。</p>			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>■新商品を開発した時点で事業終了とすることなく、開発された製品の販路開拓や他制度との連携に向けた検討を行う。</p> <p>■静岡県発明協会と連携を図り、補助制度を活用しながら企業の積極的な産業財産権出願を促進し、市内製造業の技術保護につなげたい。</p>	
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります					
		中施策	新商品・技術開発等に対する支援					
産業振興プラン位置付け	基本方向							
	基本方針							
	基本施策							
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)	<p>■平成29年度から、補助対象を特許・実用新案に限定している。</p>				

事業 10	ものづくり 基本計画	(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成29年度					
	事業名	(事業10) アーティストとのコラボレーション支援推進 (ニューウェーブしずおか創造事業)		予算額	6,437 千円				
				決算見込額	6,305 千円				
	事業概要	この事業では、本市の特色を生かして開発される家具等の新商品開発と新規の流通開拓を支援します。 具体的には、意欲ある企業による研究会の立ち上げのほか、事業者とデザイナー等との協働によって開発された商品を流通市場で広くPRすることで販売促進を支援します。		取組状況 H29.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ■参加者募集とデザイナー公募によるデザイン開発 新たに参加企業を募集しデザイナーを公募。プロデューサーの指導のもとでデザイナーと協同しデザイン開発を行い試作を行った。 ■商品試作とリデザイン デザイン開発された商品を試作中。プロデューサー指導のもとリデザインを実施予定。 ■展示会への出展(予定) 東京インターナショナルギフトショー」に出展予定。各種PRツールを作成し、商品化を模索する。 				
					補足事項	進捗率等	H29.9.1 現在	0 (%)	
							H30.3.31 現在	(開発点数) 27点 135 (%)	
	成果目標	開発点数 各年度 20点		事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■事業参加者及びデザイナーの各チームの決定 意欲ある事業所を募り、参加6者が公募デザイナー6名を選出し、プロデューサー指導のもと協議を行った。 ■デザイン開発 各チームごとに協議を繰り返し、ビジョンの策定とそれに基づくデザイン開発を行った。 ■試作とリデザインによる製品試作 デザイン図面に基づき、試作を行い、必要に応じリデザインや再試作等を実施し、プロトタイプを開発した。 ■販売ツール作成と広報活動 開発品の撮影等を行いパンフレットを作成。HP等で展示会等について告知を行いPRに努めた。 ■展示会への出展 「東京インターナショナルギフトショー」(2月)に出展。多数の来場者の反応を確かめ、営業活動を行った。 ■商品化の模索 反響を基に商品修正等を実施。各展示会出展等での反響先を中心として、営業活動を継続。販路開拓作業を継続実施した。 				
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策方針	商工・物流		事業 評 価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等			
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります						
		中施策	新製品・技術開発等に対する支援						
産業振興 プラン 位置付け	政策方針	商工・物流		<ul style="list-style-type: none"> ■改善点等 流通化率をより高めるため、首都圏での見本市出展の反復化に加えて、小売店出展や小規模展示会等により、市場への展開を多面化する。 					
	大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります							
	中施策	新製品・技術開発等に対する支援							
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他 (特記事項)						

事業 11	ものづくり基本計画	(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成29年度		
	事業名	(事業11) 地域課題に係る産学共同研究への支援		予算額	指定管理料88,290千円の一部 千円	
				決算見込額	指定管理料88,290千円の一部 千円	
	事業概要	この事業は、経済環境の変化によって生じる高度で複合的な地域課題を解決するため、地域の産業界をはじめ、新産業開発振興機構などが大学の知見・人材・分析能力を生かし、共同で取り組む調査研究を支援します。		取組状況	H29.9.1 現在	【産学交流センター】 ・地域課題に係る産学共同研究に対する委託事業：委託研究数 9件 ・委託期間：平成29年7月～平成30年3月末 ・成果発表：平成30年3月15日
		補足事項				
				H30.3.31 現在	(産学共同研究数) 9件 129 (%)	
	成果目標	7件/年		事業結果	事業評価	【産学交流センター】 ・地域課題に係る産学共同研究に対する委託事業：委託研究数 9件 ・委託期間：平成29年7月～平成30年3月末 ・成果発表：平成30年3月15日 ・過去の成果事例集を作成し、フォローアップ支援及び産学共同研究の普及に努めた。
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	3 商工・物流			
		大施策	01 次代を担う本市を代表する産業を生み出します			
		中施策	01 戦略産業の育成・集積を推進			
産業振興プラン位置付け	基本方向	3 商工・物流	次年度に向けた改善点 ・目標の未達成理由等	良質研究テーマの発掘		
	基本方針	01 次代を担う本市を代表する産業を生み出します				
	基本施策	01 戦略産業の育成・集積を推進				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係 (H30年度は中小企業支援係)		その他(特記事項)			